

(仮称) 文京区生物多様性地域戦略策定に係る基礎調査報告書 (抜粋版)

■ビオトープマップの作成

「ビオトープ」とは、動植物の生息場所を指す。「ビオトープ」には、気候や水・大気・土壌など違いにより多種多様なタイプが存在し、タイプによって生息する動植物の種類や構成も全く違うものになる。

一般的には、都市や農村、山林等も含むあらゆる場所において生き物の住み着くことのできる場所を示すことから、区内においても大規模な公園や庭園などに限らず、街路樹や施設の外構、住宅の緑などもビオトープと言える。

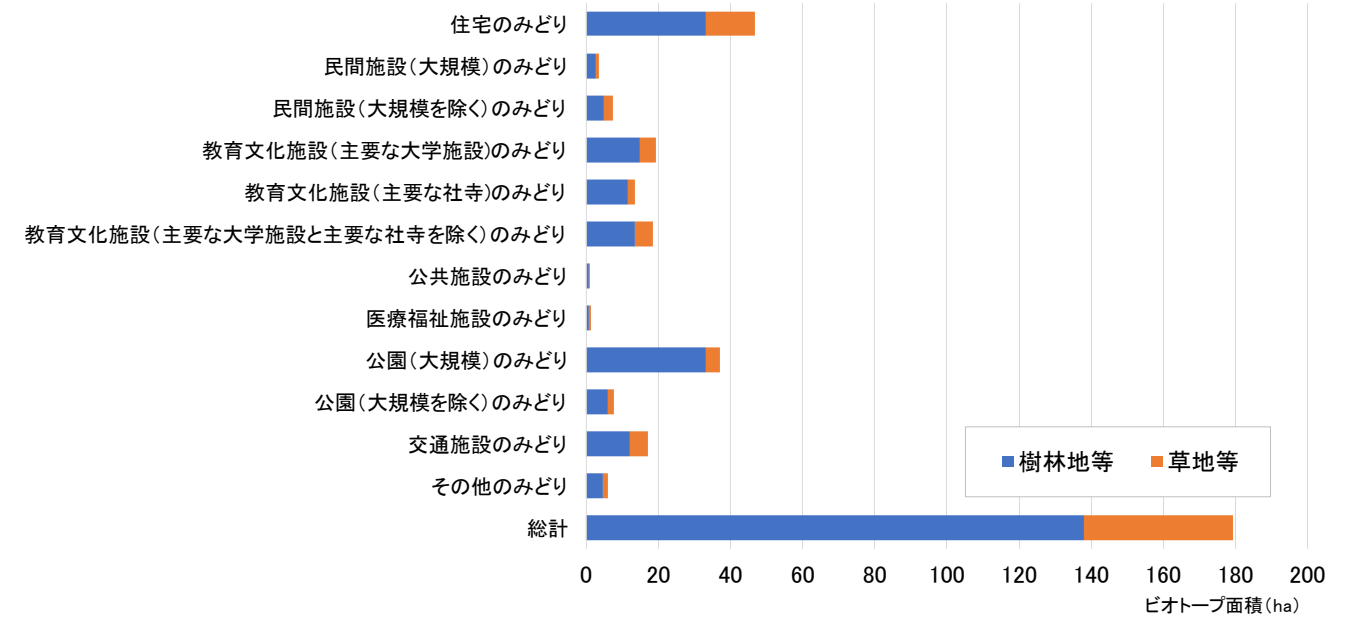
今回、文京区内の「ビオトープ」の特徴や分布を解析し、ビオトープマップを作成するとともに、タイプ別の面積を算出した。

<区内のビオトープタイプ別の面積>

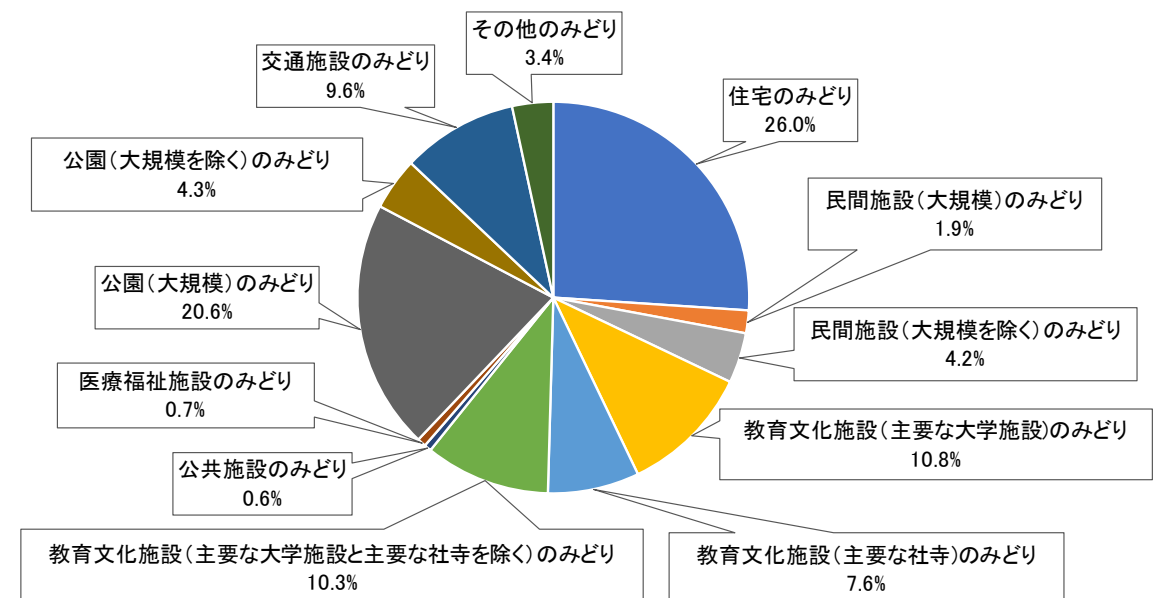
みどり区分	施設番号	大規模施設名	樹林地等			草地・低木等		樹林地等+草地・低木等	
			面積 (ha)	総計に対する構成比 (%)	明治時代にも樹林地等であった面積(内数)(ha)	面積 (ha)	総計に対する構成比 (%)	面積 (ha)	総計に対する構成比 (%)
住宅のみどり			33.10	24.0%	2.14	13.60	32.8%	46.70	26.0%
民間施設(大規模)のみどり	15	椿山荘	2.24	1.6%	1.36	0.24	0.6%	2.48	1.4%
	23	東京ドームシティ	0.55	0.4%	0.00	0.35	0.8%	0.90	0.5%
		小計	2.79	2.0%	1.36	0.59	1.4%	3.38	1.9%
民間施設(大規模を除く)のみどり			4.88	3.5%	0.24	2.58	6.2%	7.46	4.2%
教育文化施設(主要な大学施設)のみどり	3	東洋大学	0.19	0.1%	0.02	0.10	0.2%	0.29	0.2%
	9	お茶の水女子大学	3.51	2.5%	0.00	0.71	1.7%	4.22	2.4%
	10	筑波大学附属中学校・高等学校	1.58	1.1%	0.00	0.50	1.2%	2.08	1.2%
	12	日本女子大学	0.29	0.2%	0.00	0.13	0.3%	0.42	0.2%
	20	東京大学	9.02	6.5%	0.00	2.89	7.0%	11.91	6.6%
	21	中央大学	0.31	0.2%	0.00	0.14	0.3%	0.45	0.3%
	小計	14.90	10.8%	0.02	4.47	10.8%	19.37	10.8%	
教育文化施設(主要な社寺)のみどり	2	吉祥寺	0.55	0.4%	0.00	0.27	0.7%	0.82	0.5%
	4	白山神社	0.06	0.0%	0.00	0.02	0.0%	0.08	0.0%
	6	護国寺・豊島岡墓地	8.94	6.5%	0.13	1.14	2.8%	10.08	5.6%
	17	れんげ山霊園	0.48	0.3%	0.00	0.13	0.3%	0.61	0.3%
	18	伝通院	0.23	0.2%	0.00	0.12	0.3%	0.35	0.2%
	19	根津神社	0.77	0.6%	0.00	0.21	0.5%	0.98	0.5%
	25	湯島天満宮	0.02	0.0%	0.00	0.01	0.0%	0.03	0.0%
26	湯島聖堂	0.45	0.3%	0.00	0.14	0.3%	0.59	0.3%	
	小計	11.50	8.3%	0.13	2.04	4.9%	13.54	7.6%	
教育文化施設(主要な大学施設と主要な社寺を除く)のみどり			13.52	9.8%	2.28	5.03	12.1%	18.55	10.3%
公共施設のみどり			0.73	0.5%	0.00	0.33	0.8%	1.06	0.6%
医療福祉施設のみどり			0.85	0.6%	0.02	0.44	1.1%	1.29	0.7%
公園(大規模)のみどり	1	六義園	6.98	5.1%	6.72	0.78	1.9%	7.76	4.3%
	5	大塚公園	0.63	0.5%	0.00	0.09	0.2%	0.72	0.4%
	7	占春園・教育の森公園	4.34	3.1%	0.51	0.44	1.1%	4.78	2.7%
	8	小石川植物園	13.04	9.5%	1.89	0.98	2.4%	14.02	7.8%
	11	関口台公園	0.37	0.3%	0.00	0.03	0.1%	0.40	0.2%
	13	目白台運動公園	2.00	1.5%	0.54	0.24	0.6%	2.24	1.2%
	14	肥後細川庭園	1.28	0.9%	0.00	0.18	0.4%	1.46	0.8%
	16	江戸川公園	1.29	0.9%	0.01	0.05	0.1%	1.34	0.7%
	22	礒川公園	0.55	0.4%	0.00	0.18	0.4%	0.73	0.4%
	24	小石川後楽園	2.60	1.9%	0.00	0.93	2.2%	3.53	2.0%
	小計	33.08	24.0%	9.67	3.90	9.4%	36.98	20.6%	
公園(大規模を除く)のみどり			5.87	4.3%	0.15	1.90	4.6%	7.77	4.3%
交通施設のみどり			12.07	8.8%	0.51	5.08	12.3%	17.15	9.6%
その他のみどり			4.59	3.3%	0.18	1.48	3.6%	6.07	3.4%
総計			137.88	100.0%	16.70	41.44	100.0%	179.32	100.0%

■文京区のビオトープの特徴

- ・庭木や花壇などの「住宅のみどり」が、ビオトープ全体の26.0%を占めている。
- ・古くから存在している「公園(大規模10箇所)のみどり:20.6%」や、「教育文化施設(主要な大学施設6箇所)のみどり:10.8%」、「教育文化施設(主要な社寺8箇所)のみどり:7.6%」が占める割合が高く、歴史ある文京区の特徴を表している。

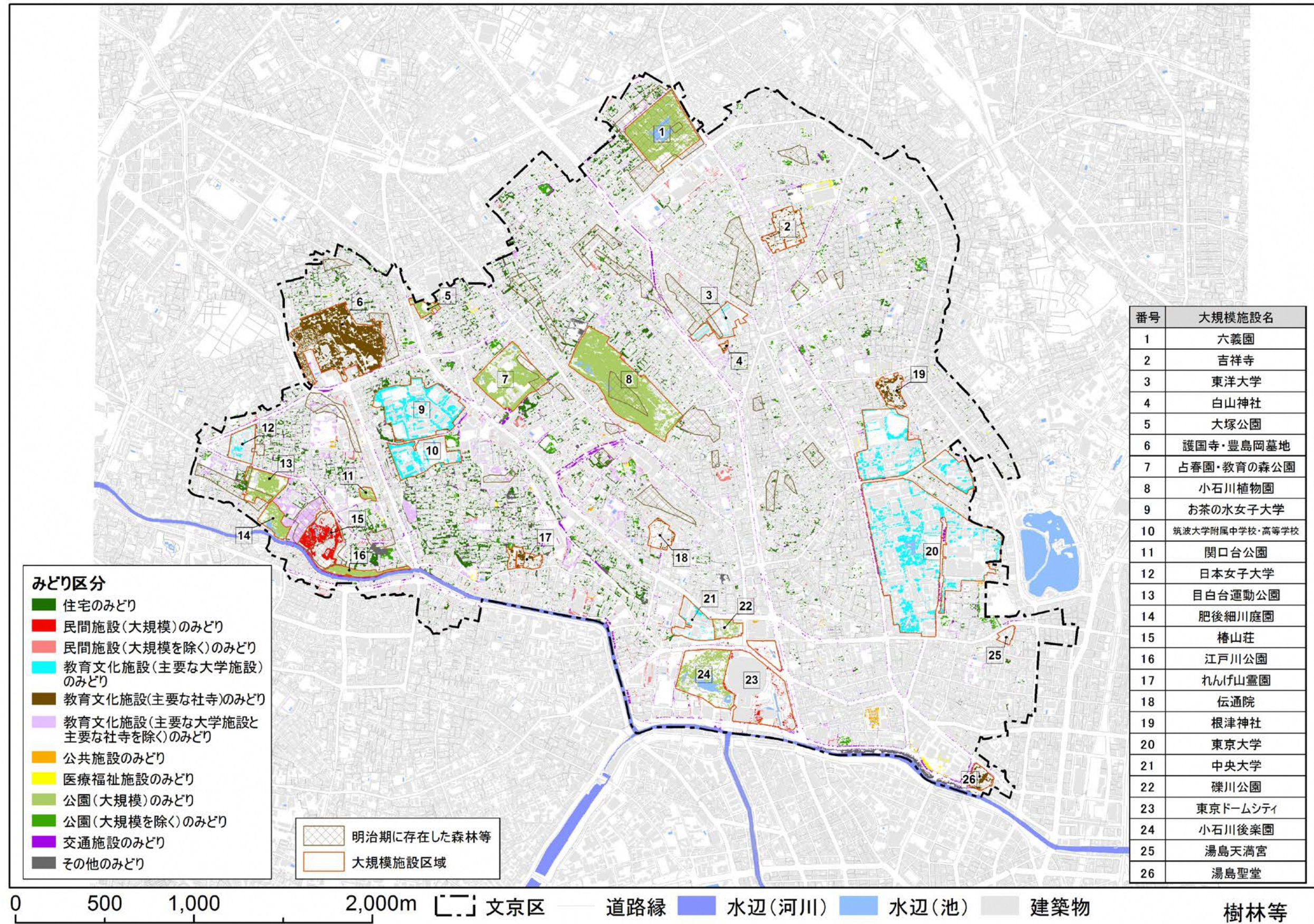


<ビオトープタイプ別の面積>



<ビオトープタイプの構成比(樹林地等+草地・低木等)>

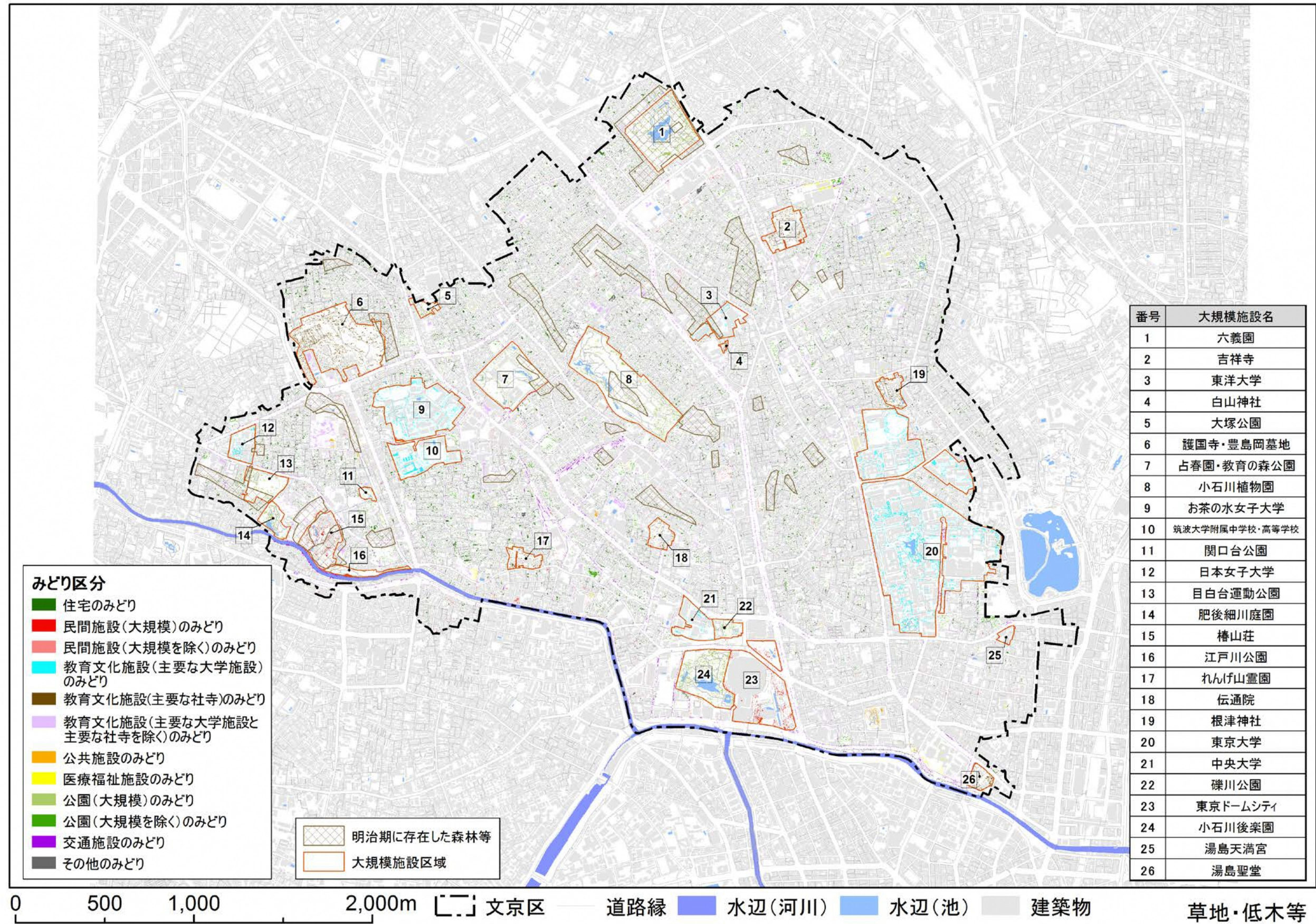




※迅速測図（森林等）は、明治期に存在した森林等であった所を表している。  
 ※大規模施設の敷地境界は、都市計画図等を参考に作図したものであり、実態と異なる（境界線内に他の施設を含む等）場合がある。  
 出典）H23 年度土地利用現況調査、文京区都市計画基本図、GoogleMap より作成

<区内のビオトープマップ（樹林等）>





※迅速測図(森林等)は、明治期に存在した森林等であった所を表している。  
 ※大規模施設の敷地境界は、都市計画図等を参考に作図したものであり、実態と異なる(境界線内に他の施設を含む等)場合がある。  
 出典) H23年度土地利用現況調査、文京区都市計画基本図、GoogleMapより作成

<区内のビオトープマップ(草地・低木等)>



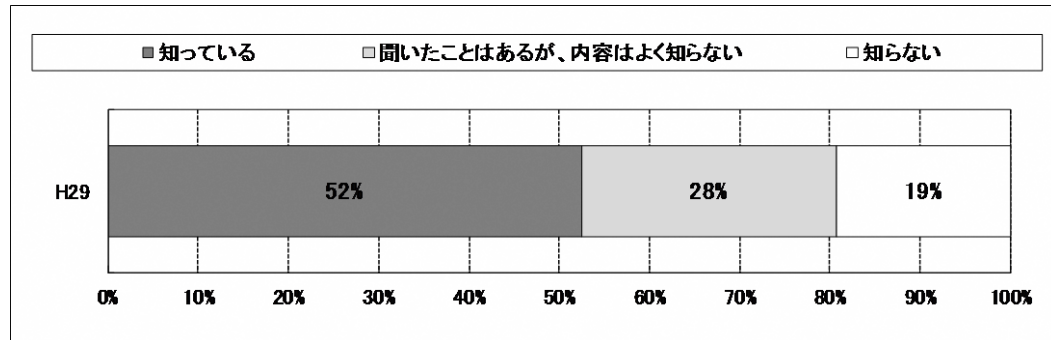
■ 区民・事業者アンケート調査の結果

平成 29 年 5 月 26 日～6 月 14 日で、区民・事業者を対象に、生物多様性に関する意識や認知度等について調査した。

(1) 区民アンケートの結果概要

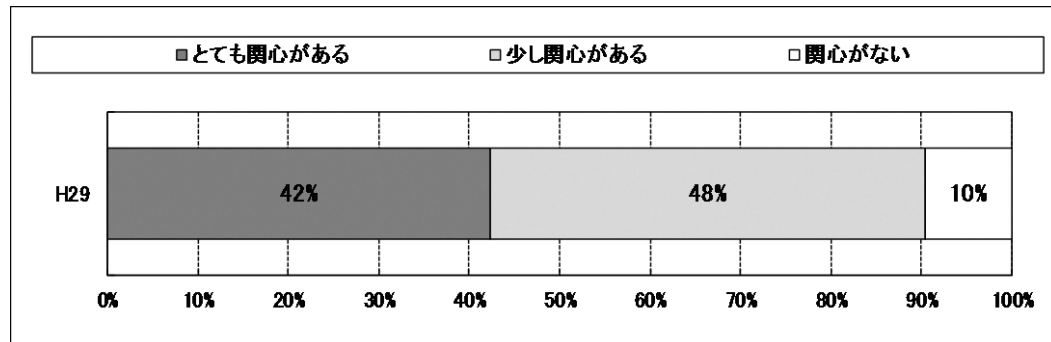
① 「生物多様性」についての認知度

「知っている」が半数を超えており、「生物多様性」に関する区民の認知度は高いことが分かる。



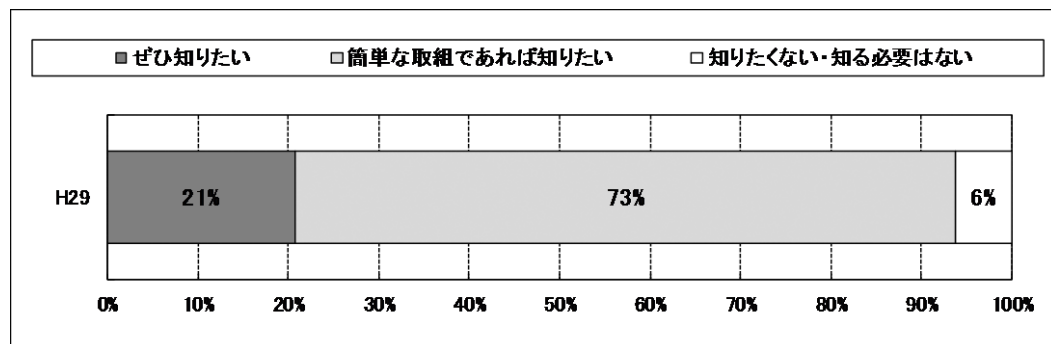
② 身の回りの「いきもの」の存在についての関心度

「とても関心がある」、「少し関心がある」を合計した割合が、9 割と関心度が高い。「関心がない」は 1 割に留まった。



② 生物多様性の保全に関する具体的な取組の内容について

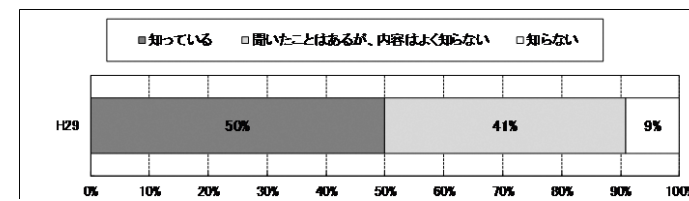
「ぜひ知りたい」、「簡単な取組であれば知りたい」を合計した割合が 9 割以上と、高い割合を占めている。



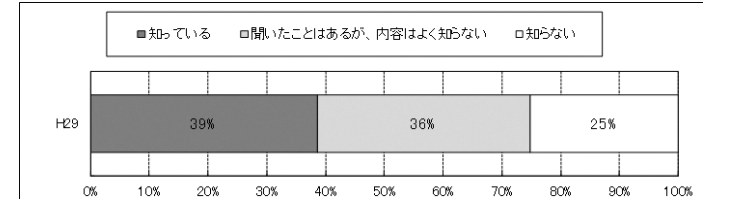
(2) 事業者アンケートの結果概要

① 「生物多様性」についての認知度

大規模事業者では、名称の認知度は 9 割程度と高いが、内容の認知度は 5 割程度にとどまった。中小規模事業者では、名称の認知度は 7 割以上であったが、内容の認知度は 4 割程度にとどまった。



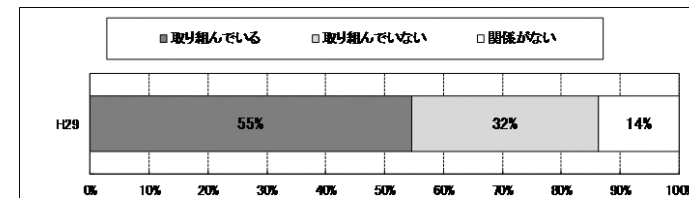
<大規模事業者>



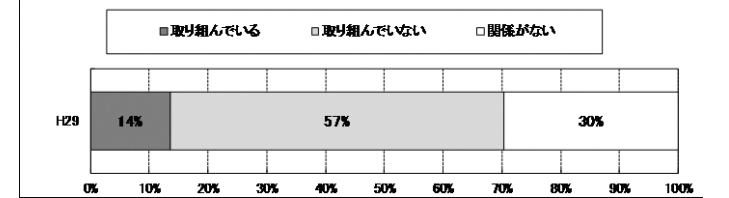
<中小規模事業者>

② 生物多様性の保全につながる取組について

大規模事業者では、「取り組んでいる」が 5 割以上を占めたが、中小規模事業者では、「取り組んでいる」が 2 割未満となった。「関係がない」の回答は、中小規模事業者で 3 割となっており、大規模事業者と比較すると倍近い割合となった。



<大規模事業者>

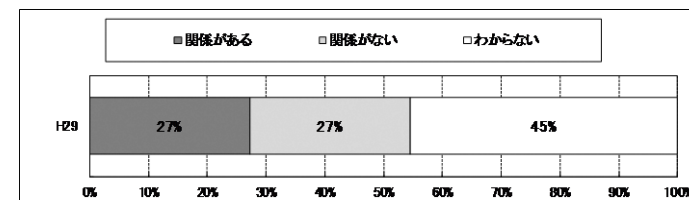


<中小規模事業者>

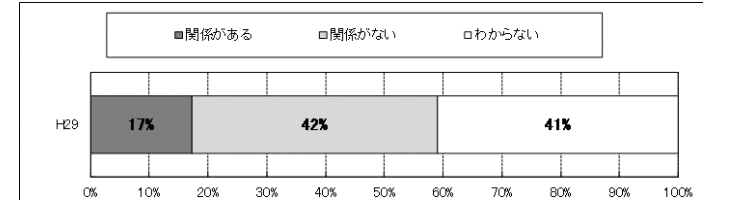
③ 事業活動において生物多様性との関係性について

大規模事業者では、「関係がある」、「関係がない」の両方が約 3 割であった。また、「わからない」の割合は 4 割以上と、認識が低い結果となった。

中小規模事業者では、「関係がある」が 2 割未満にとどまり、「関係がない」、「わからない」の両方が約 4 割と、大規模事業者よりも認識が低い結果となった。



<大規模事業者>



<中小規模事業者>

■ 現地調査の結果

(1) 調査地

区の特長や歴史を踏まえ、8か所において、動物・植物の現地調査を実施した。

<調査地一覧>

調査区分	調査対象施設	備考
都市公園	本郷給水所公苑	0.788ha
	千石緑地	0.1244ha
	須藤公園	0.4825ha
	関口台公園	0.5225ha
公共施設	文京シビックセンター	地上部及び3・4階屋上庭園を対象とする
神社	根津神社	
民間施設	順天堂大学医学部附属順天堂医院 (以下、順天堂医院)	地上部及び屋上庭園を対象とする
区道	播磨坂さくら並木	路線延長：約419m、幅員：約40m



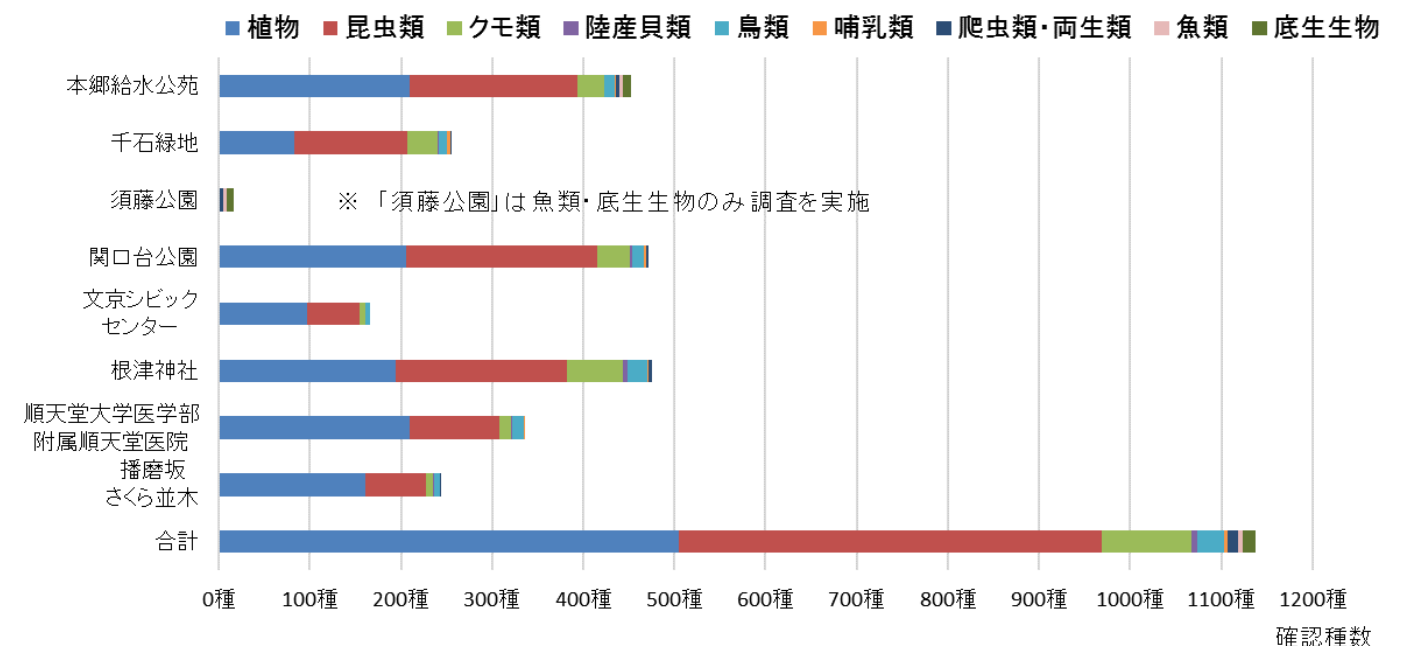
<調査地位置>

(2) 調査結果の概要

- 全調査地で、動物植物を357科1,137種確認した。
- 樹林地を含む根津神社や関口台公園や、水辺(池、水路)を含む本郷給水公苑では、多くの動物・植物を確認。
- 順天堂医院は、屋上庭園や施設の外構にさまざまな植物が植栽されており、神田川に近いことも関連して、面積は小さいものの、多くの種類を確認。
- 文京シビックセンターにおいても、小さな昆虫や芝生に生えてきた植物を中心に166種もの動物・植物を確認。

<現地調査における動植物の確認種数>

	本郷給水公苑	千石緑地	須藤公園	関口台公園	文京シビックセンター	根津神社	順天堂大学医学部附属順天堂医院	播磨坂さくら並木	合計
植物	70科 209種	51科 83種	-	75科 206種	41科 97種	75科 194種	75科 210種	66科 161種	122科 505種
昆虫類	80科 185種	66科 124種	-	106科 209種	43科 58種	93科 188種	56科 98種	43科 67種	158科 464種
クモ類	14科 29種	14科 33種	-	17科 36種	5科 6種	23科 62種	8科 13種	7科 7種	20科 98種
陸産貝類	0科 0種	2科 2種	-	2科 3種	0科 0種	4科 4種	1科 1種	1科 1種	5科 7種
鳥類	12科 12種	8科 9種	-	11科 12種	5科 5種	18科 22種	13科 13種	7科 7種	23科 29種
哺乳類	1科 1種	3科 3種	-	3科 3種	0科 0種	2科 2種	1科 1種	0科 0種	4科 4種
爬虫類・両生類	3科 3種	1科 1種	5科 5種	3科 3種	0科 0種	4科 4種	0科 0種	1科 1種	10科 11種
魚類	3科 4種	-	2科 4種	-	-	-	-	-	3科 6種
底生生物	10科 10種	-	7科 7種	-	-	-	-	-	12科 13種
合計	193科 453種	145科 255種	14科 16種	217科 472種	94科 166種	219科 476種	154科 336種	125科 244種	357科 1137種



<現地調査における動植物の確認種数>



### (3) 重要な種の確認状況

東京都のレッドデータブックや環境省のレッドリスト等に選定されている、絶滅の恐れがあるとされる重要な種について、調査地全体で 23 種（明らかに人為的に持ち込まれた個体が確認された 4 種を含む）が確認された。

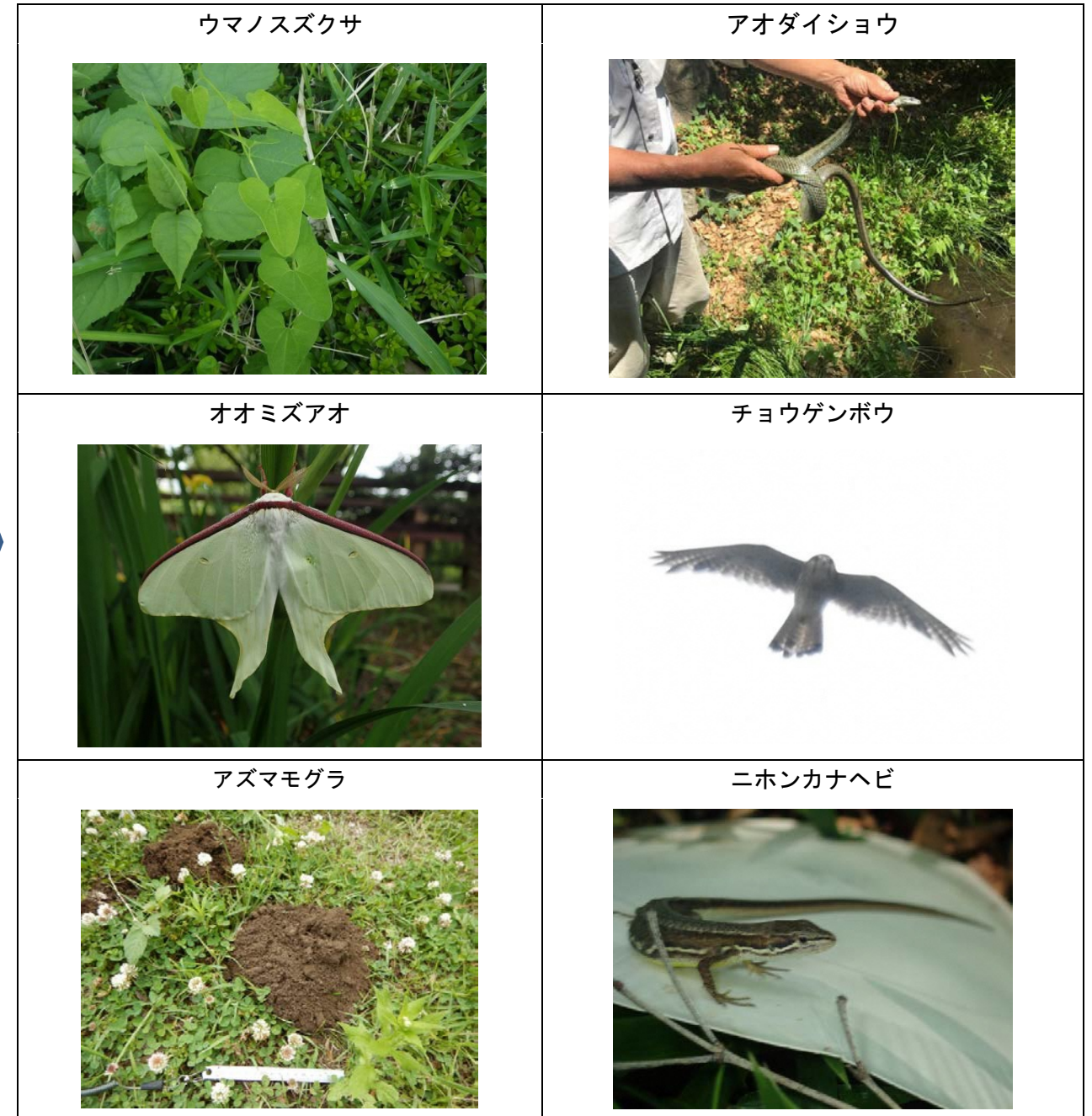
都市の環境に上手く適応し、人間と共存しながら生きている種（アオダイショウ、ニホンヤモリなど）や、調査地を一時的に通過した種（チョウゲンボウなど）、人が人為的に持ち込んだと思われる種（メダカ属の一種）などが確認された。

#### <重要な種の確認状況>

種類	種名	調査地点								重要種選定基準				
		本郷給水所 公苑	千石緑地	須藤公園	関口台公園	文京シビック センター	根津神社	順天堂医院	播磨坂 さくら並木	①	②	③	④	
植物	ウマノスズクサ キンラン アマドコロ												VU	VU
昆虫類	リンゴクロカミカメ センカミキリ オオミズアオ												NT	VU
クモ類	キシノウエタテグモ ヨコフカニグモ												NT	VU
鳥類	コサギ ヒメアマツバメ チョウゲンボウ													VU
哺乳類	ハヤブサ アズマモグラ									国内		VU	EN	*
爬虫類・両生類	ヒキガエル科の一種 クサガメ ニホンスッポン ニホンヤモリ ニホントカゲ ニホンカナヘビ アオダイショウ ヒバカリ													NT <sup>注3</sup> DD CR+EN VU CR+EN VU NT VU
魚類	メダカ属の一種												VU	CR+EN <sup>注4</sup>
底生生物	スジエビ													*
	合計種数									0種	1種	6種		22種

重要な種の保護のため確認位置は非表示

注1) 明らかに、他の地域から人為的な理由により持ち込まれた  
注2) 多種との交雑の可能性が考えられる  
【重要種選定基準】  
①「文化財保護法」(昭和25年 法律第214号)及び「文化財保護条例」に基づき指定された天然記念物  
特天: 国指定の特別天然記念物 国天: 国指定の天然記念物 都天: 都指定の天然記念物 区天: 区指定の天然記念物  
②「絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律」(平成4年 法律75号)  
国際: 国際希少野生動物種 国内: 国内希少野生動物種 緊急: 緊急指定種  
③「環境省レッドリスト2017」(環境省報, 2017)  
EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR+EN: 絶滅危惧I類 CR: 絶滅危惧II類 EN: 絶滅危惧III類 VU: 絶滅危惧II類 NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足  
LP: 絶滅のおそれのある地域個体群  
④「レッドデータブック東京2013(本土部)」(平成25年3月 東京都)の区部に該当する掲載種  
EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR+EN: 絶滅危惧I類 CR: 絶滅危惧II類 EN: 絶滅危惧III類 VU: 絶滅危惧II類 NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 \*: 留意種



### (4) 外来生物の確認状況

外来生物法において、「特定外来生物」（海外起源の外来種であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるもの）に指定された生物として、2種（オオキンケイギク、ウシガエル）が確認された。

また、特定外来生物には指定されていないものの、ミシシippアカミミガメやアメリカザリガニ、ハクビシンなど、普段よく見かける動物や植物の中に、多くの外来生物が含まれていることが確認された。

#### <外来生物の確認状況>

No.	種名	調査地点							
		本郷給水所 公苑	千石緑地	須藤公園	関口台公園	文京シビック センター	根津神社	順天堂医院	播磨坂 さくら並木
1	オオキンケイギク	●							
2	ウシガエル	●							
計	2種	2種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
その他の主な外来生物		アメリカザリガニ、ミシシippアカミミガメ、ハクビシン、コイ(飼育品種)、キンギョ など							

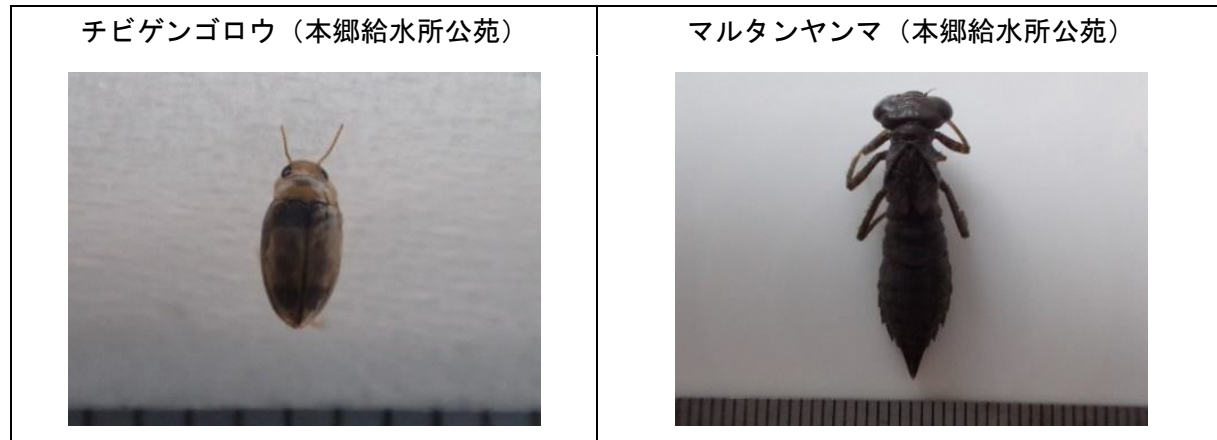




(5) 特徴的な生きものたち

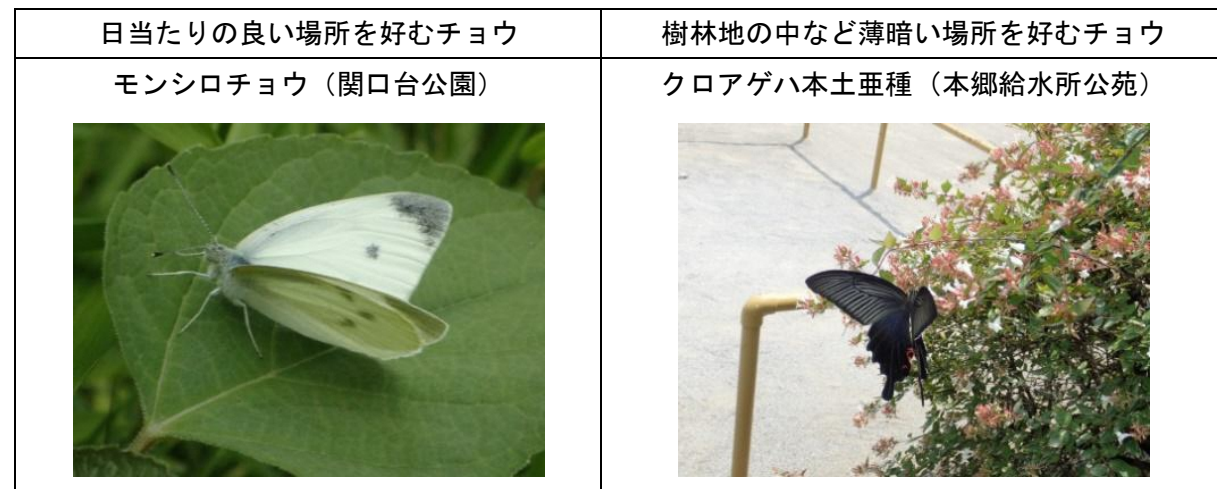
● 都心の池にも様々な昆虫が生息

本郷給水所公苑の池や水路は、人工的に作られたごく限られた面積の水辺であり、他の池や川ともつながっていない。しかし、ゲンゴロウやトンボの仲間など飛ぶ力の強い昆虫たちが水辺を訪れ、水中に卵を産み、そして幼虫から成虫へと成長するなど、生物の「営み」を見ることができる。



● 環境に合わせたチョウが生息

チョウの仲間は、好む場所や食べるものが決まっている。調査でもさまざまなチョウが確認されており、それだけ、多様な環境が文京区にも残されていることを示している。



● 古くからの樹林にはタヌキも生息

根津神社や千石緑地のように、古くからの樹林地が残る場所では、「タヌキ」も確認。



<根津神社の群落調査区における群落断面>



● 都心ならではの珍客

日本産の生きものでも、人為的に他の地域から持ち込まれたものを「国内移入種」と言う。

調査で確認された「メダカ属の一種」や「ヒキガエル科の一種」などは、ペットの放逐や工事の土砂に紛れるなどして、人為的に運ばれてきたものが定着したものである。また、「メダカ属の一種」はヒメダカ (ペット) とメダカの交雑が、「ヒキガエル科の一種」は、アズマヒキガエルとニホンヒキガエル (関西から人為的に移入) の交雑が考えられた。

また、本来は里山で可憐な花を咲かせる「キンラン」は、土地を造成する際、ほかの土地から運ばれてきた土砂に種子が紛れており、造成後に芽をだし、そのまま定着したものと考えられる。

文京区の生物多様性を考える上で、国内外から連れてこられた多くの生き物たちにも目を向けることが重要である。

